

## 佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
会計学 accounting		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
簿記Ⅰ・Ⅱ、商法、経営学Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
簿記Ⅱ、経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
山崎好一	非常勤講師室	講義内で指示する	授業中に指示します	
授業の概要				
決算書の一つひとつの骨組み（フレーム）とその考え方を学び、決算書全体の見方・読み方を理解する。結果として簿記の役割と機能を学んで会計的思考を身に付ける。				
授業の目標				
①簿記により作成される決算書について、見方・読み方ができるようにする。 ②会社の実態を係数的に考察し説明できるようにする。 ③社会人として、日常に使える会計知識を説明できるようにする。				
授業の方法				
使用テキスト「会計学を学ぶ」を用いて講義を行う。				
学習の成果（学習成果）				
①決算書の一つひとつの骨組み（フレーム）とその考え方を説明できる。 ②決算書の見方・読み方を説明できる。 ③簿記の役割と機能を学んで現代企業の行動を会計的に説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	シラバスの説明、簿記と会計はどのようにつながっているか			
第2回目	会計の一般原則には何があるか			
第3回目	貸借対照表の構造とその作り方（資産の種類と当座資産）			
第4回目	貸借対照表の構造とその作り方（有価証券と棚卸資産）			
第5回目	貸借対照表の構造とその作り方（有形固定資産）			
第6回目	貸借対照表の構造とその作り方（無形固定資産・繰延資産・負債の部）			

第7回目	貸借対照表の構造とその作り方（純資産の部）	
第8回目	貸借対照表の読み方 小テスト	
第9回目	損益計算書の作り方（売上高を計算する）	
第10回目	損益計算書の作り方（売上原価を計算する）	
第11回目	損益計算書の作り方（販売費及び一般管理費と儲けを計算する）	
第12回目	損益計算書の読み方	
第13回目	キャッシュフロー計算書の作り方	
第14回目	期末試験	
第15回目	講義のまとめ（講義全体を振りかえりる）	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	30%	最高点(S)としては、無遅刻・無欠席で、積極的に授業に参加すること。
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	最高点(S)としては、90%の正解を得ること。
試験	60%	最高点(S)としては、90%の正解を得ること。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
「会計学を学ぶ」（税務経理協会）		
履修上の留意点・ルール		
①グループワークに積極的に参加すること。 ②分かりにくい点があれば積極的に質問すること。 ③携帯電話の使用（送受信・その他の使用）は禁止（緊急の場合は講師に申し出ること）。		